



## INDEX

- 02 特集 保存から活用へ 文化財の未来を考える
- 08 四日市PLUS 移動児童館
- 09 四日市PLUS アルコール関連問題啓発週間
- 10 きらり四日市人 小川ほたるさん
- 12 ツナガル市民協働 / 命を守る防災
- 13 そらんぼ四日市へ行こう! / 四日市まちかどニュース
- 14 編集後記 / 広報紙で動画を見よう / 市の情報発信源

令和元(2019)年10月5日発行

**10月上旬号 NO.1534**

編集・発行 / 四日市市役所  
広報マーケティング課  
代表電話(総合案内) ☎354-8104  
〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号  
HP <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



# 保存から活用へ 文化財の未来を考える



平成31年4月に改正文化財保護法が施行され、「文化財を保護する」ことに加えて「文化財を活用する」ことに力点が置かれるようになってきました。過疎化や少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸などが緊急な課題となっており、これを防止する目的の改正です。

貴重な文化財を後世まで残していくために、人々の関心を文化財に集め、多くの人にその価値を知ってもらう。そのためにさまざまな形で文化財の活用を図り、多くの人がある存在を知り地域の誇りとなることで、有形文化財は守られ、無形文化財は担い継がれていきます。移り行く時代の中での文化財の在り方について考えてみませんか。

## 市内には指定・登録文化財が154件

市内には国指定11件、県指定32件、市指定65件、計108件の指定文化財があり、国登録などを含めると154件になります。県指定有形民俗文化財の大入道山車(昭和51年3月31日指定)は、市制施行100周年記念事業で生まれた市のマスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のモチーフになるなど、本市を代表する文化財となっています。四日市萬古焼(平成5年8月3日指定・認定)や日永うちわの製作技術(平成30年3月22日指定・認定)は、優れた伝統製作技術が評価されて市指定無形文化財になっています。



ちゃんねる  
連動

今回の特集の内容は市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

- 地デジ12ch(CTY)
- 10月1日(火)  
～10日(木)に放送  
月・水・金・日曜日  
9:30、20:30  
火・木・土曜日  
12:30、20:30

## 文化財保護法が改正されて

文化財保護法が改正されたことにより、(1)都道府県による文化財保存活用大綱の策定、(2)市町村による文化財保存活用地域計画の作成、などを推進することが求められています。市町村が作成した地域計画が国に認定されれば、現在、その都度文化庁の許可が必要となっている現状変更手続きが、届け出のみで行えるようになります。国指定文化財を活用しやすいよう市町村への権限の移譲を推進する今回の法改正は、保護中心から保存と活用の両立への大きな転換となるのではないかと考えられています。



## ■市内の文化財一覧(抜粋)

### 〈国指定文化財〉

- ① 四日市旧港港湾施設(中部地区・稲葉町、高砂町)
- ② 末広橋梁(旧四日市港駅鉄道橋)  
(中部地区・千歳町～末広町間)
- ③ 木造慈恵大師坐像(大矢知地区・垂坂町)
- ④ 十六間四方白星兜鉢(中部地区・鶉の森一丁目)
- ⑤ 鳥出神社の鯨船行事(富田地区・東富田町ほか)
- ⑥ 久留倍官衙遺跡(大矢知地区・大矢知町)
- ⑦ 東阿倉川イヌナシ自生地(海蔵地区・大字東阿倉川)
- ⑧ 西阿倉川アイナシ自生地(海蔵地区・大字西阿倉川)
- ⑨ 御池沼沢植物群落(三重地区・西坂部町)

### 〈県指定文化財〉

- ⑩ 鯨船山車(中部地区・南納屋町)
- ⑪ 大入道山車(中部地区・中納屋町)
- ⑫ 日永の追分(日永地区・追分三丁目)
- ⑬ 伊勢安国寺跡(四郷地区・西日野町)
- ⑭ 広古墳A群(下野地区・大鐘町)
- ⑮ 川島町のシデコブシ群落(川島地区・川島町)

### 〈市指定文化財〉

- ⑯ 旧四日市市役所四郷出張所(四郷地区・西日野町)
  - ⑰ 四日市萬古焼(橋北地区・京町)
  - ⑱ 日永うちわの製作技術(日永地区・日永四丁目)
  - ⑲ 志氏神社古墳(羽津地区・大宮町)
  - ⑳ 浜田城跡(中部地区・鶉の森一丁目)
  - ㉑ 冠山茶の木原(水沢地区・水沢町)
  - ㉒ 大樟(小山田地区・堂ヶ山町)
  - ㉓ 桜町シデコブシ群落(桜地区・桜町)
- ### 〈国登録文化財〉
- ㉔ 旧四日市市立図書館(中部地区・諏訪栄町)
  - ㉕ 宮崎本店(楠地区・楠町南五味塚)
  - ㉖ 旧伊藤伝七別邸(中部地区・高砂町)



※指定文化財個別の詳細は、市ホームページをご覧ください

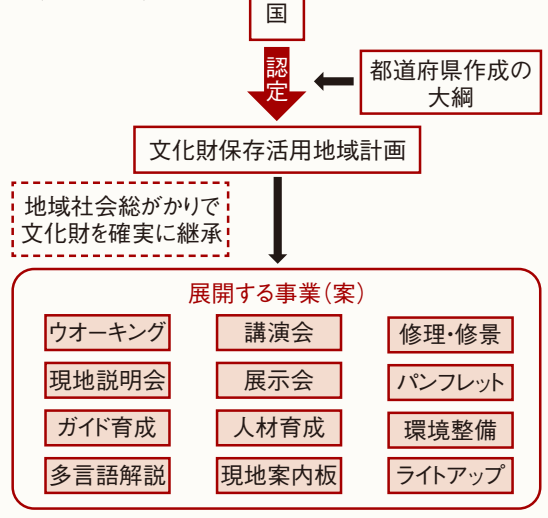
## 文化財保存活用地域計画

改正文化財保護法により、市町村による文化財保存活用地域計画の作成が制度化されました。これは各市町村での目標や取り組みの内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なアクション・プランになります。

この計画を作成することで、将来的なビジョンや具体的な事業などの実施計画を定めること、地域住民の理解・協力を得ることで地域社会総がかりで取り組むこと、まちづくりや観光などの行政分野とも連携すること、未指定文化財を含む幅広い文化財の積極的な保存・活用を推進することなどが期待されます。

この計画は令和2年度から令和3年度にかけて作成し、令和4年度からの実施を予定しています。文化財に新たな価値を見出す積極的な活用について考えていきます。

### ■文化財保存活用地域計画(イメージ図)



## 国指定

古代朝明郡の役所跡

### く る べ かん が 久留倍官衙遺跡⑥

(平成18年7月28日指定)

飛鳥時代から平安時代中期に朝明川流域を治めた、古代朝明郡の役所跡です。東を向く政庁は他の官衙には見られない特徴であり、正倉院やその他施設など官衙の全体像や変遷を知ることができる全国的にも貴重な遺跡です。壬申の乱(672年)や聖武天皇の東国行幸(740年)との関連も指摘されています。

平成30年3月にガイダンス施設「くるべ古代歴史館」がオープン。八脚門を復元した久留倍官衙遺跡公園は、令和2年秋にオープン予定です。

ホームページは

[くるべかんがいせき](#) で **検索**



平成16年調査当時



全国に誇れる史跡です

元々趣味で歴史街道を歩いていて、定年退職をきっかけに発信する側に関わってみたいと思い、ボランティアに応募しました。四日市唯一の国指定史跡で、全国にも誇れる文化財です。ぜひ一度来ていただいて、いい史跡があるんだなと実感していただければと思います。

久留倍官衙遺跡公園 ボランティア  
安良城雄介さん

## 県指定

### おいわけ 日永の追分⑫

(昭和13年4月12日指定)



追分とは道が二つに分かれるところで、日永の追分は江戸と京を結ぶ東海道と、伊勢に向かう伊勢街道との分岐点に当たります。鳥居は1774年に建てられたのが始まりで、現在の鳥居は伊勢神宮の式年遷宮により、平成28年に伊雑宮の鳥居から払い下げられたものです。追分には旅籠や茶屋のほか、綿屋という両替商や東海道中膝栗毛に登場する鍵屋などもありました。

## 市指定

### し で 志氏神社古墳⑬

(昭和30年3月30日指定)

市内で唯一確認されている前方後円墳で、現在は後円部が保存されています。鏡などの出土品も、市指定有形文化財です。



### 浜田城跡⑳

(昭和30年3月30日指定)

現在、鶴森神社となっています。文明2(1470)年に田原美作守忠秀が築城したといわれています。



### かんざんちゃ きばら 冠山茶の木原㉑

(昭和56年3月26日指定)

水沢地区の製茶の発祥地。延喜年間(901~922年)に地元の僧が唐伝来の茶の木を植えて栽培したのが始まり。



# 天然記念物

## 国指定

貴重な植物が残る湿地

### 御池沼沢植物群落<sup>9</sup>

(昭和27年10月11日指定)

昭和15年、当時の四日市市立高等女学校の教諭であった安井直康さんが、ノハナショウブ群落を発見したことが、指定文化財となるきっかけでした。東部と西部の二つの指定地に分かれ、合わせて約4万6千㎡の広さになります。寒地性のヤチヤナギと暖地性のミクリガヤが共存していることが特徴。ミクリガヤは日本における分布の北限地です。その他にも、さまざまな食虫植物や東海地方の固有種、レッドデータブックに載っている植物など、珍しい植物の宝庫となっています。

御池沼沢植物群落  
環境保全ボランティアの皆さん



■秋に観察できる植物

サワギキョウ

ヤマラッキョウ



まずは観察会に来てください

東海地方特有の植物が群生しており、きれいで珍しい植物を残すために活動しています。御池沼沢に興味のある方はまず、年に数回行われる観察会に参加してみてください。また、自然を楽しみながら体を動かせるボランティアへの参加もお待ちしております。

## 国指定

### 東阿倉川イヌナシ自生地<sup>7</sup>

### 西阿倉川アイナシ自生地<sup>8</sup>

(ともに大正11年10月12日指定)

イヌナシは明治35年に、アイナシは明治36年に発見されました。イヌナシは原始的な野生ナシの一種です。アイナシはイヌナシと栽培ナシの中間に位置する種で、これがアイナシ命名の起源と言われています。4月初旬に白い花が咲き、夏になると直径1~3cmの果実が実ります。



イヌナシ



アイナシ

## 市指定

### 大樟<sup>22</sup>

(昭和34年3月25日指定)

堂ヶ山町神明社の境内に神木としてまつられています。樹齢800年と推定される市内で最大の大樟。昭和47年に、樟を「市の木」に選定しています。



### 桜町シデコブシ群落<sup>23</sup>

(昭和57年2月16日指定)

分布は伊勢湾を中心とした東海3県に限られており、春先に淡紅色の花を開きます。第3紀鮮新世(約500万~200万年前)に属する地層からシデコブシの葉などの化石が発見されることから、生きる化石とも言われます。



## 市指定

### 日本一の村役場 旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)⑬

(昭和57年2月16日指定)

近代建築様式の面影を伝える、擬洋風の木造2階建て3階建て塔屋付き建物。後に東洋紡績になる三重紡績を創業し、四日市の産業や教育発展に尽くした伊藤傳七(十世)が投じた多額の寄付金をもとに、大正10年に建設されました。

当時、そのハイカラな容姿は「日本一の村役場」と言われました。現在は郷土資料館として毎週土曜日の9時から16時まで開館し、四郷地区を代表する産業である酒の醸造や製糸などさまざまな展示を行っています。



当時の外観



出張所時代の事務室

## 国指定

### 四日市旧港港湾施設①

(平成8年12月10日指定)

明治6年、当時の戸長(現在の町長)であった稲葉三右衛門は、私財を投じ11年の歳月をかけて四日市港を築きました。明治22年の暴風雨被害を受けて改修された潮吹き防波堤は、貴重な港湾遺産として評価されています。



### 末広橋梁(旧四日市港駅鉄道橋)②

(平成10年12月25日指定)

四日市港の千歳運河に架かる跳開式の鉄道用の橋で、昭和6年に製作されました。動く橋は全国で約80作られましたが、鉄道橋として現在も動くのは二つしかなく、末広橋梁は唯一現役の鉄道橋です。



## 国登録

国登録制度…指定よりも規制を緩やかにし、建造物の保存と活用を幅広く促すために設けられた制度

### 旧四日市市立図書館⑭

(平成15年1月31日登録)

昭和4年、昭和天皇御大典記念として、四日市の事業家の熊澤一衛が図書とともに寄付したものです。



### 宮崎本店⑮

(平成8年12月20日登録)

弘化3(1846)年に創業された酒造業の老舗。江戸時代以降に建てられた事務所や倉庫などがあります。



### 旧伊藤伝七別邸⑯

(平成22年9月10日登録)

三重紡績を創業した伊藤傳七の別邸として、明治前期に建てられました。明治期の四日市港の繁栄を伝える建造物です。



## 国指定

### ユネスコ無形文化遺産 鳥出神社の鯨船行事⑤

(平成9年12月15日指定)

北勢地方に分布する全国的にも珍しい陸上の模擬捕鯨行事の中で、最も古来の様式を保持した典型的な祭礼行事。鯨を大漁や富貴の象徴と見なし、これを仕留める演技を行うことによって豊穰を祈願します。

氏子圏の四つの組(北嶋組・中島組・南島組・古川町)から1艘ずつ豪華な彫刻や幕で飾られた鯨船山車(神社丸・神徳丸・感應丸・権現丸)が出され、張りぼての鯨とのストーリー性のある攻防が見どころです。平成28年12月1日に、全国33の「山・鉦・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。毎年8月14日・15日に開催。



張りぼての鯨



ユネスコ登録決定時

## イベントで文化財について知ろう

文化財を活用したイベントを開催しています。本市が誇る文化財について、楽しく学びませんか。

<p>シンポジウム 郷土の文化遺産 「文化財のちから ～みんなでまもり、みんなでつなぐ～」</p>	<p>四郷ふるさとの道ウォーキング</p>	<p>久留倍遺跡まつり ・周辺史跡ウォーク ・講演会</p>
<p>時 10月12日(土) 13:00～16:00 所 四日市商工会議所1階 ホール</p>	<p>時 10月27日(日) ※10月9日申し込み締め切り</p>	<p>時 11月17日(日) ※ウォーキングは 11月6日申し込み締め切り</p>
<p>ユネスコ無形文化遺産に登録された「鳥出神社の鯨船行事」など、市内に多く所在する貴重な文化財を保存・活用していく取り組みについて討論します。前文化庁長官の青柳正規さんによる基調講演もあります。</p>	<p>社会教育・文化財課職員が、四郷ふるさとの道に点在する顕正寺や旧四郷村役場といった文化財などを解説しながら、一緒に歩きます。旧笹野酒造初代当主の隠居所だった「懐石白梅」を紹介し、希望に応じて昼食をとっていただくこともできます。</p>	<p>午前は久留倍官衙遺跡周辺の史跡・社寺を巡るウォーキングです。グループ別に歩き、学芸員が解説します。午後からは大阪府立弥生文化博物館名誉館長の黒崎直さんを招き、聖武天皇の東国行幸に関して、あさけプラザで講演会を開催します。</p>

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

社会教育・文化財課 ☎354-8238 FAX 354-8308  
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354-8315

“あそび”を「出前」

# 利用しよう! 移動児童館

八郷地区のお友達

児童館の職員さん



児童館は、子どもに遊びや体験活動の提供・指導を行い、子どもの心や身体の健やかな育成を図る場所です。児童館がない地区には児童館があそびを「出前」していること、知っていましたか。

## 移動児童館とは・・・

市内の児童館がない地域を中心に、工作や遊びの体験を通して、子どもたちが心豊かに成長していくことのできる環境作りを支援します。

“いどうじどうかん号”に色々な遊びを詰め込んで、市内どこへでも児童館の遊びを届けます。

## どうやって利用するの?

子ども会、PTA、子育て支援サークルなど、児童健全育成を目的とした団体であれば、どなたでも申し込みできます。申し込みは移動児童館(塩浜児童館内) ☎/FAX 346-7333)へ。希望日の6カ月前から申し込みできます。申込書は、市ホームページ(HP ID 1001000001266)からダウンロードできます。ぜひ、ご利用ください。

## 移動児童館に遊びに来た親子にインタビュー



地区市民センターが発行する地区だよりを見て、初めて参加しました。児童館が移動してくれるのは、大変便利です。また利用したいです。

児童館を知らないという人もまだまだいます。申し込みがあれば市内どこへでも出向いて、遊びを届けに行きますよ。



移動児童館職員 早川僚子

## 行ってみよう!市内の児童館

それぞれの館ごとに、充実した遊びやイベントを実施。同年代のお友達と楽しい時間を過ごせますよ。

### こどもの家

諏訪栄町22-25  
(すわ公園交流館2階)  
☎/FAX 351-3933



### 北部児童館

富州原町31-50  
(富洲原地区市民センター南隣)  
☎/FAX 364-5444



### 塩浜児童館

大字塩浜887-1  
(塩浜子育て支援センター隣)  
☎/FAX 346-7332



### こども子育て交流プラザ

東新町26-32  
(橋北交流会館4階)  
☎330-5020 FAX 334-0606



# アルコール依存症と向き合う ～断酒を支える自助グループの役割～

お酒の飲みすぎは、がんや消化器疾患、脳卒中、精神や行動の障害など全身に影響を及ぼします。また、家族関係や職業生活にも深刻な問題を招くことがあります。お酒を飲む人であれば、誰でも陥る可能性のある「アルコール依存症」。アルコール依存症を正しく理解し、向き合い、そして疑いがある場合は周りや専門医に相談しましょう。



アルコール依存症の初期治療はクリニックでできますが、生涯にわたってケアをしなければ、「お酒を飲みたい」という欲求を止めることは難しいものです。いかに社会生活の中で患者さんを支えていけるか、そして見守るネットワークができていけるかが重要になってきます。その中で断酒会の役割はとて大きく、私たちは、どうスムーズに断酒会につなげるかが重要課題だと考えています。

いのあろ  
かすみがうらクリニック 猪野亜朗先生



**アルコール依存症と診断されても、本市には安心できる相談先があります。**

**今回は、自身もアルコール依存症と診断された経験を持ち、  
現在は自助グループ役員や代表を務めるお2人に話を伺いました。**

## 特効薬はないアルコール依存症



三重断酒新生活会  
事務局長  
宮崎學さん

高校卒業後の就職先が大変忙しく、2・3カ月休みなく働くこともあり、隙間時間にお酒を飲んでいました。当時、給料はすべて酒代に消えていましたね。肝臓を悪くし入退院を繰り返していましたが、37歳で産業医や内科医から精神科治療を勧められ、入院になりました。入院中に断酒会に通っていたため、退院後は自然な流れで入会

し、役員などを担ううちに会に溶け込んでいました。

今では「早いうちにお酒をやめて良かった」と心から言えます。お酒をやめるのに特効薬はありません。一緒に、長い時間を掛けて向き合しましょう。



▲第1・3木曜日の四日市例会

## つまらない人生だ——断酒を決意

当時は職場の先輩に誘われ毎日飲みに行っていました。肝硬変になり入退院を繰り返しましたが、そのままお酒を飲み続けました。そのうち、お風呂も入らず毎日同じ服装でお酒を飲んで過ごす私の姿を見た母親が家族に相談し、精神科がある病院に入院になりました。入院後は、勝手に抜け出したりしたので電話も外出も禁止されました。ふと「こんなつまらない人生でいいのか」と断酒を決意するまでに3年かかりました。

現在は断酒会を立ち上げ、充実した第二の人生を送っています。1人で悩まず、ぜひ「灯」に顔を出してください。



ともしび  
断酒会 灯(日曜昼例会)  
代表 伊藤孝雄さん

## 精神科医によるアルコール関連問題の相談

日時：11月21日(木) 13:30～16:30  
場所：総合会館7階 相談室

11月19日までに予約が必要です。  
保健予防課までご連絡ください



## 小川ほたるさん

詩とアートを組み合わせた展覧会「NHKハート展」に、詩を応募し、今年で4回連続入選を果たした小川ほたるさんをご紹介します。

わすれんぼ。  
 わすと。  
 おぼあちゃん。  
 わすれんぼ。  
 おいしちゃん。  
 わいしてきつろつろ。  
 わすれんぼ。  
 しょうきがたづけてくたさい。  
 わたしはわすれんぼ。

▲第24回NHKハート展入選の詩

### NHKハート展とは

障害のある人がつづった50点の詩とその詩に込められた思いを、各界の著名人やアーティストがアート作品で表現する、詩とアートを組み合わせた展覧会です。障害のある人もない人も互いに理解し合い、「ともに生きる社会」の実現を目指して1994年にスタートしました。今年で24回目を迎えたNHKハート展には3,205点の作品が応募され、入選した詩と作品は、全国を巡回している展覧会で見るすることができます。巡回スケジュールなど詳しくは、ホームページ (<https://www.nhk.or.jp/heart-net/event/art/>) をご覧ください。

有料広告掲載欄

最近、虐待など、子どものニュースが絶えません。子どもたちの守り方について考える日々です。この講座では、施設で生活する子どもたちや里親制度についてお伝えします。どなたでもお気軽にご参加下さい。

児童養護施設・乳児院では、職員(児童指導員・保育士・看護師・心理士)を募集中です。お問い合わせは、エスペランス四日市本弘(モトヒロ)まで TEL:059-346-1371

## ええやん里親三二講座

♥日時: 10月14日(月・祝) 10:00~11:30  
 場所: 下野地区市民センター 2階ホール

♥日時: 10月30日(水) 19:00~20:30  
 場所: 楠地区市民センター 3階会議室301

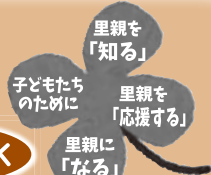
参加無料

当日参加OK

♥お問い合わせ/  
 社会福祉法人アパティア福祉会  
**児童家庭支援センターまお**  
 (エスペランス四日市内)

080-6983-6863 mao@apatheia.jp  
 (まお直通:9時~16時)  
 059-346-1371 (エスペランス四日市)  
 共催:三重県 後援:四日市市

里親制度まお 検索



Supported by  
 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 助成: 日本財団

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

## ■応募のきっかけ

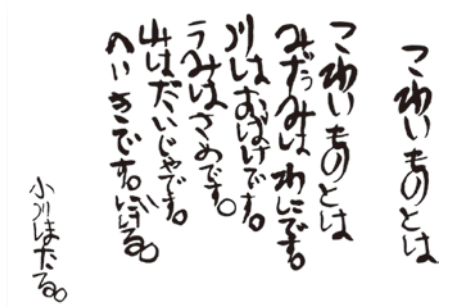
おしゃべりが大好きで、明るいほたるさんは、現在特別支援学校聖母の家専攻科に通っています。ほたるさんは、ダウン症と自閉症を併せ持っていて、普段から少しの刺激が大きなストレスになります。視覚や聴覚、触覚、臭覚、味覚すべてに過敏なため神経が疲れやすく、ストレスで学校に行けない日もあります。

4年前、特別支援学校西日野にじ学園の頃の授業の一環で、NHKハート展に応



募することになりました。ほたるさんは授業中に書くことができなかったので、先生の勧めで、夏休み中に書いて応募することになりました。

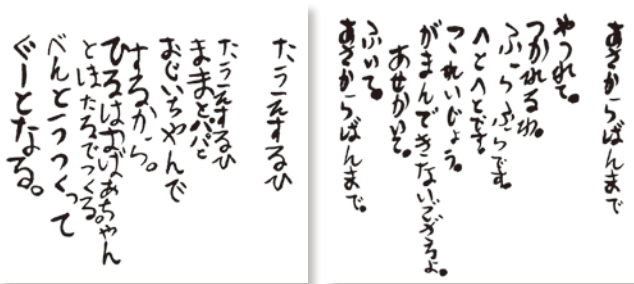
ほたるさんは幼少期から家で筆を使った遊びをしていたので、普段から筆でたくさん詩を書いていました。そこで、書き溜めた作品から5点を応募したところ、「こわいものとは」が16歳で見事初入選し、翌年の「たうえするひ」が入選したことで、NHK「ハートネットTV」に出演しました。



## ■空想を題材に

ほたるさんは、日本の昔話や絵本、ドラマやアニメなどから想像を膨らませ、場面や表現を生みだします。そのため、ほたるさんの書く詩の中には、昔の場面や言葉遣いなどが交ざっていて、読んだ人を思わず“クスリ”と笑わせます。

第22回に入選した「たうえするひ」は、日本昔話に多く登場する田んぼを題材にし、大好きな家族と田植えをしたという想像の世界が書かれています。



## ■詩を通して伝えたい

ほたるさんは、自分の気持ちを口頭で的確に伝えることが苦手ですが、応募作品以外にもたくさんの詩を書いて思いを表現しています。ほたるさんは、今後個展を開く予定です。誰もがほたるさんの独自の世界と自由な想像力に触れることができる、そんな将来はそう遠くないかもしれません。



▲今年の入選作品とほたるさん  
恩師（右）も駆け付けてくれたそうです

10月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

**「こんなとき、どうすれば…？」お早めにお電話でご予約ください！ ☎059-350-2080**

近鉄四日市駅から  
徒歩1分！  
南改札口(東口)すぐ！

<p><b>交通事故</b></p> <p>「事故にあい、治療中ですがこれからどうすれば…？」 「後遺症の認定が非該当でした」</p>	<p><b>相続・遺言</b></p> <p>「遺産のことで兄弟でもめています…」 「遺留分とは何ですか？」</p>	<p><b>不動産・建築</b></p> <p>契約書のことや 建物の欠陥のことなど</p>	<p>◆交通事故(被害者)のご相談は無料◆</p> <p>その他の法律相談(初回)は30分5,400円(税込)ですが 初回相談でご納得頂けなかった場合には無料とさせていただきます。</p> <p>「まずは一度ご相談を！」</p>
<p><b>離婚</b></p> <p>「親権や慰謝料・養育費のことて話がまとまりません」</p>	<p><b>企業法務など</b></p> <p>企業様には今後の安心のため 顧問契約(月額1万円～)を！</p>	<p style="font-size: large; font-weight: bold;">尾市法律事務所</p> <p>弁護士 尾市 淳二 (三重弁護士会所属)</p> <p>(財)日弁連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士</p> <p>詳しくは【尾市法律】検索☎</p>	

四日市市浜田町5番27号第3加藤ビル5F (1FはJTBが入ったビル)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



第15回

## コミュニティビジネスってどんなビジネス？

市民協働安全課 (☎354-8179 FAX354-8316)

### ■コミュニティビジネスって何？

コミュニティビジネスとは、地域におけるさまざまな課題を解決するため、ビジネスの手法を用いて運営する事業のことです。

例えば、地域の人へ無料または少額で食事を提供する「子ども食堂」や、地域の食文化の発信と雇用を同時に実現する「農業レストラン」などがあります。

### ■身近なコミュニティビジネス

本市でも、障害者就労施設を

運営しながら、自分たちで育てた野菜を使った食品を販売している団体や、働きづらさを抱える人が就労準備のために訓練できるカフェを運営する団体など、幅広い分野で熱心な取り組みが展開されています。

### ■コミュニティビジネスを深掘り!

多様化する価値観、少子高齢化の進展など、社会情勢の変化により生じる地域課題については、その地域で生活する住民が最も身近に感じています。コミ

ュニティビジネスは、住民自らが地域の人材や施設などを活用することで新たな創業や雇用が生まれ、人のつながりを深めることができます。目の前の課題解決のみならず、地域づくりにおいても大変有効な手段です。

### ■まずは身近なところから

高齢者が住み慣れた家で安心して生活できるよう、低額で手助けを行う事業が始まったように、身近なコミュニティビジネスの入り口を探してみませんか。



第3回

## 11月5日は「津波防災の日」です

危機管理室 (☎354-8119 FAX350-3022)

### ■津波防災の日とは

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、11月5日が「津波防災の日」と定められました。嘉永7年(1854年)11月5日の安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲った際、稲に火をつけて暗闇の中で逃げ遅れている人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」という逸話が由来です。平成27年には国連においても「世界津

波の日」に制定されました。

南海トラフ地震による津波は、70数分程度で本市まで到達すると想定されています。避難は「早く・高く・遠く」が原則です。海の近くや低いところにいる時に大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受信したりしたら、できるだけ早く海から離れた高台や高い建物を目指しましょう。また、津波は陸地への反射を繰り返す、何度も押し寄せることがあります。津波警報が解除さ

れるまでは、津波避難マップの津波避難目標ラインを目指して、高い場所へ避難しましょう。

### ■津波避難ビル

本市では、南海トラフ地震に備え、海岸線から4kmかつ標高5m以内にある3階建て以上の堅固な建物を対象に「津波避難ビル」を指定しています。いざという時に備え、自宅や勤務先周辺の避難場所の位置を津波避難マップで確認しておきましょう。



津波避難マップ▲

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部

随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)  
葬祭費(本人10万円・家族7万円)  
高額療養費、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助(3万3千円)  
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。



第43回

## 四日市公害を伝える活動をしませんか

四日市公害と環境未来館 (☎354-8065 FAX329-5792)

### ■解説員ボランティアが活躍

四日市公害と環境未来館では、土・日曜日や祝日を中心に、解説員ボランティアが館内の展示を案内しています。現在、年齢も経験も違う30人の解説員が、それぞれ都合のいい時間に活動しています。さまざまな場所から訪れる幅広い年齢層の来館者に接することで、活動にやりがいを感じるという声もよく聞かれます。

### ■一緒に活動しませんか

このたび、令和2年4月から活動する解説員ボランティアを募集します。

活動開始までの約5カ月間に、計7回の解説員養成講座を予定しています。四日市公害の基礎知識を学ぶ講座だけでなく、多彩な講師による講座や現地見学なども行うの



▲解説員養成講座

で、初めて学ぶ人も安心してご応募ください。

四日市公害の語り部の高齢化などの課題を抱える今、展示の内容を分かりやすく伝える解説員は重要な存在です。「せっかく四日市に住んでいるのだから、公害のことを学び伝えていきたい」と考える人や、「自分の知識を生かしたい」という人の応募をお待ちしています。

詳しくは、広報よっかいち10月下旬号に掲載します。



### ◆地域の皆さんも参加！四日市農芸高校の防災訓練

(9月5日 同校)

### ◆秋の訪れ (9月13日 水沢地区)



四日市農芸高校で防災訓練が行われ、地域の皆さんもハイゼックス袋を使ったご飯の炊き出しや起震車体験に参加。生徒による避難所運営ゲーム(HUG)も見学し、防災への意識を高めていました。



彼岸花はその名のとおりに、秋の彼岸(9月下旬)の頃に田畑や墓地の近くでよく見られます。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、気候のいいこの季節に、秋の草花を探しに出掛けてみませんか。

有料広告掲載欄

～創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～



株式会社 ふじや本店  
**光倫会館**  
☎0120-114248

■本社／四日市光倫会館  
〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015  
【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224  
■光倫会館 桜ホール  
〒512-1211 四日市市桜町6613  
【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483  
■富田光倫会館  
〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7  
【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

# 編集後記

今回の表紙は、くるべ古代歴史館で行われた「勾玉づくり」の様子です。



同館職員が勾玉の歴史などを解説したあとに、屋外で勾玉づくりを行いました。型通りに削れたり、削り過ぎて小さくなったりするなど、一人ひとりの個性が光る作品ができました。(小林)



今回の特集を通じて、四日市は歴史のあるまちなんだということ改めて実感しました。2組のボランティアを紹介しましたが、その他にもさまざまな形で文化財の保存・活用に尽力している人たちがいて、文化財はそういった人たちの努力が積み重なって現在まで引き継がれています。

保存から活用へ、文化財の在り方は大きな変わり目を迎えています。市でも積極的に文化財に関連するイベントを開催していきますので、興味のある人はぜひ一度参加してみてください。(老谷)

## 広報紙で動画を見よう

- ①右のコードを読み取って「まるごと四日市」のサイトにアクセス
- ②表紙の「広報よっかいち」のロゴや下の「こにゅうどうくん」のイラストにスマートフォンなどをかざすと動画が見られます  
※利用には無料アプリ「びこんず」のインストールが必要



ぼくにスマホをかざしてみてね!

### 今月の動画

- コスモス畑
- 玉井兄弟



こにゅうどうくん

## 市の情報発信源 (10月)



手帳・文字放送付き

放送時間 (15分間)

月・水・金・日 9:30、20:30  
火・木・土 12:30、20:30

CTY 地デジ12ch

1日(火)~10日(木) 四日市の文化財~未来につなげる~  
11日(金)~20日(日) 知って予防! ノロウイルス感染症  
21日(月)~31日(木) 四日市けいりんに行こう

※バックナンバーをYouTubeで配信しています  
※番組DVDを広報マーケティング課、市立図書館(自動車文庫を含む)、楠交流会館図書室、あさけプラザ図書館で貸し出しています



市長自らが番組に出演し、四日市市の魅力を発信します。奇数月の21日~末日20:30放送



Mieライズ

毎月第3金曜日(例外あり)の「旬感☆Mie」のコーナーで市の情報を発信。10月は、18日(金)18:00ごろに放送します



シー・ティー・ワイ エフエム



「ALO! YOKKAICHI!」(5分間)

土曜日 19:54  
…ポルトガル語による市からのお知らせ

「なるほど! 防災」(5分間)

月曜日 17:30、木曜日 8:30  
…災害への心構えなど防災に関するお知らせ

「人権を確かめあう日」(5分間)

毎月22日  
10月は、7:30、12:54、16:30、18:30

「レディオキューブ♥FM三重 FM85.0MHz(市内)」

「防災よっかいち」(5分間) 木曜日 12:55  
…防災に関する情報をお届けします

「東海ラジオ AM1332kHz(市内)/FM92.9MHz」

「1・2・3 四日市メガリージョン!!」  
日曜日 19:30  
…四日市を起点に、東京~名古屋~大阪を巻き込むメガリージョン番組

市ホームページ <https://www.city.yokkaichi.lg.jp>



スマホ・タブレットで広報紙が読める!



Catalog Pocket



「よっかいち」で検索



広報用 SNS やってます!  
アカウント名「よっかいち広報」

フェイスブック



ツイッター



有料広告掲載欄



唐頭・出張買取OK!  
創業106年の歴史と信頼・実績!

小町の屋 KOMACHI

タンスの中に眠っていませんか? 大量のお着物もお気軽に!

# 着物買取

貴金属・ジュエリーも高価買取中!

059-352-4253

■四日市市鵜の森1丁目7-13  
■9時~18時(木曜定休)



和裁士募集中  
「広報よっかいち」は再生紙と植物油インキを使用しています。不要になったらリサイクルへ。

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 311,525人 [8月末日現在(前年比-769)] ■火災件数 5件 [8月分(前年比-3)] ■交通事故件数 912件 [8月分]